



露場機器と庁舎全景(写真下)

東京都東京ヘリポート空港気象観測システム運用開始！

東京都東京ヘリポート(東京都江東区新木場)の気象観測業務を東京都様から委託されている財団法人日本気象協会様より、明星電気の空港気象観測システムをご採用いただき、今年4月1日から運用が開始されました。

同ヘリポートは、公共機関や在京マスコミ各社、遊覧飛行やチャーター、訓練飛行を行う民間航空会社などの多種多様なヘリコプターが頻繁に離発着を行っている地域航空の重要拠点です。

空港気象観測システムは、気象観測の結果を運行の関係機関などに提供して、飛行機やヘリコプターなど航空機の離着陸の安全のために利用されています。風向・風速・雨量・温度・湿度・気圧・雲底高度などの各計測部を設置して、観測結果は所定の通報式に従いネットワークに配信され各方面で利用されています。

様々な気象要素を確実に観測する、明星のテクノロジーが空の安全を支えます。

(当社営業担当:第一営業部 大西 徹也)

大規模災害のあったミャンマーに気象観測装置を提供！

明星電気は、WMO(世界気象機関)のVCP(無償支援計画)の一環により、ミャンマーに気象観測装置の提供を行いました。

ミャンマーでは、2008年5月に「サイクロン・ナルギス」と名付けられた大型サイクロンによる大規模災害が発生したため、早急な気象観測網の整備が必要となり気象庁様を通じて日本国内で実績のある当社に要請がありました。

2009年1月、気象観測装置(風向風速計、雨量計、温湿度計など)一式はミャンマーの新首都ネピードにある気象局の早期警戒システムセンターに設置され、観測が開始されました。今回の整備で、観測の自動化またはリアルタイムでの気象情報の収集が可能となり、異常気象があった場合も早期把握ができるようになりました。

なお、この他に当社ではスリランカへGPSゾンデ受信装置の提供も行っており、同3月にクワアチアで行われたVCPIに関する会議の報告書には、「2008年度インフラ設備提供の実績メーカー」として、「Meisei Electric Co.Ltd」が2件紹介されました。

明星電気は、今後も様々な分野で国際貢献にも寄与致します。

(当社営業担当:第二営業部 長谷田 光俊)



設置された気象観測装置と早期警戒システムセンター(写真下)

「先端技術館@TEPIA」にQCASTが展示されています！

2009年4月、「先端技術館@TEPIA」がリニューアルオープンされたことを機に、明星電気のQCAST®受信ユニットが当社販売店であるJFEシステムズ株式会社様により展示されました。

TEPIAは、日本を誇る先端技術の理解を広めることを目的に最新の製品などを常設展示する施設で、メイン展示として「くらしとコミュニケーション」「健康と医療」「都市とモビリティ」「環境とエネルギー・資源」「小さな世界と高機能素材」の5つの領域、更に14の技術分野に分けて紹介しており、QCASTは「都市とモビリティ」の中の「耐震・免震・制震」分野に展示されています。

メイン展示以外にも、超小型電気自動車やコミュニケーションロボットがロビー展示されるなど、様々な分野の先端技術が紹介されていますので、是非この機会に先端技術を実際に触れて、確かめにご来場下さい。

先端技術館@TEPIA <http://www.tepia.jp/>

場所:東京都港区北青山2-8-44

(主催:財団法人 機械産業記念事業財団(TEPIA)) 後援:経済産業省・東京都)



展示されているQCASTと展示スペース

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。